



帯広市では、社会総掛かりで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを進めています。コミュニティ・スクール（CS）は、学校・家庭・地域が目標を共有して、ともに子どもを育てていく取組みです。

明星小学校CS協議会の取組みをご紹介します

明星小学校では、10月26日に第1回目の会議を開催し、会長には明星子どもを育てる会会長の佐藤委員、副会長には前学校評議員の佐々木委員を選出しました。

会議では、まず最初に、校長から学校経営方針について、主幹教諭から教育活動の内容について説明をしました。

その後、「安心安全部会」「学校支援部会」「PTA部会」に分かれて、コーディネーターの選出、学校経営方針の承認、部会における支援の内容についての熟議（KJ法）・発表を行いました。



熟議・発表の様子

熟議では、これまでの教育活動の成果として「自主的、計画的に勉強ができていないこと」「コロナ禍でも学びを止めない工夫がされていること」これからの課題としては「タブレット学習についてどのように工夫していくか」「学ぶ楽しさや興味関心をどのように伸ばしていくか」「朝の挨拶をもう少し大きな声で」などの意見が出されました。



落ち葉拾いの様子

CS発足の記念として、11月20日にCS委員、学校支援コーディネーター、交連協明星支部の皆様による「落ち葉拾い」を実施しました。また、1月14日には通学路の安全点検を実施しました。

明星小のCS協議会では、CSの活動や役割について理解を深めていただくため、委員の輪番で「明星コミスク通信」を発行します。学校の課題や願いを地域学校協働活動を通して地域の応援団に託せるような取組みを目指していきたいと考えています。

明星小学校 校長 伊賀 真美

啓西小学校CS協議会の取組みをご紹介します

啓西小学校では、12月20日に第1回目の会議を開催し、会長には市交通安全推進委員連絡協議会長の神田委員、副会長には啓西地区ネットワーク委員長の山谷委員、コーディネーターには放課後居場所づくりどんぐりの会の榮前田委員とPTA会長の池田委員を選出しました。

会議では、まず最初に、市教育委員会よりCSについて説明があり、委員全員がCSの役割について理解を深めました。

その後、校長より啓西小CS実施要項について説明し、協議会の役割や運営体制、年間の流れなどについて確認しました。また、学校経営方針においては、**コロナ禍における学校の取組み**を中心に説明をしました。



学校経営方針説明の様子

その後、2グループに分かれ「啓西小CSのあり方」「育てたい子ども像」「学校経営方針」「所属団体で取り組めること」などについて熟議し、「CS協議会に対して、学校の要望を伝えてほしい」「町内会・子供のつながりが希薄になる中、親同士のつながりも同様に感じる」などの意見が出され、「**つながりをつくる**」ことの大切さについて共通理解が図られました。



熟議の様子

各委員が啓西小の同窓生であったり、元PTA役員であるなど、日頃から児童や保護者と関わりがあり、地域の現状を把握されていることから、活発な意見交換となり、話し合いの途中で終了時刻を迎えました。

第2回目の会議においては、引き続き、「育てたい子ども像」と、今回の熟議において確認されたテーマである「**つながりをつくる**」ことについて、さらに議論を深める予定です。

啓西小学校 校長 鈴木 宏和

研修会を開催しました①

令和3年11月19日に、各学校のCS委員や学校評議員、教職員等を対象に、CSに関する研修会を開催しました。

講師は、帯広第五中学校の野上泰宏校長で、これまで、小学校2校と中学校1校のCSの立ち上げと運営に携わってきました。

講演では、これまでの学校と地域との関係性を踏まえ、その学校におけるCSの意義を見出しながら、運営されてきたことなどをお話しいただきました。



研修会の様子

実際にCSを運営してよかったことや苦労した体験、学校と地域との橋渡しとなる人の大切さなど、実体験を踏まえたお話は興味深く、参加者からは、「CSの役割がよくわかった」「説得力があり、わかりやすかった」との声を多くいただきました。

研修会を開催しました②

令和3年12月18日に、各学校の地域コーディネーター等を対象に研修会を開催しました。

全部で3つの講座を開催し、1つ目の基礎講座では、緑丘小学校の澤田靖校長を講師に、令和元年度にCSを導入した緑丘小学校の取組みをご紹介いただきました。

講演では、CSを開始するまでの準備・開催、令和2年度に入り、コロナにより不足するマスク・アルコール・そうきんが寄贈されたこと、ボランティア団体同士が協力して校内清掃が行われたことなど、コロナ禍における取組みを中心にお話しいただきました。

2つ目のコーディネーター実践講座は、帯広市学校支援アドバイザーの保前明美氏を講師とし、「コーディネートするために身に付けたい5つのスキル」をテーマに行いました。



講師 澤田 靖 様



講師 保前 明美 様

講義は主にグループディスカッション形式で行いました。講師より、学校と地域とをつなぐコーディネーターの役割について説明された後、提示された3つのテーマの中から、グループごとに話し合う内容を決め、問題・原因・解決方法について議論し、発表しました。

日頃の活動から課題を認識している参加者も多く、活発な意見交換が行われました。どのグループも議論を進めるうちに白熱し、自分のグループの意見が周りのグループの声にかき消されるほどでした。

グループ発表の後、講師より「発言は簡潔に伝えられたか」「他人の意見を否定せずに受け入れた上で議論できたか」など、議論を進めるポイントについて確認がありました。



グループディスカッションの様子



グループ発表の様子

最後に「連携協力を進めるコーディネートのスキル」のまとめとして、「活動に参加する人（当事者）の意欲を喚起するスキル」「当事者間にメリット・デメリットが偏在しないようにするスキル」など、5つのスキルについて説明されました。

3つ目のパソコン講座は、パソコン教室コミノ代表の井上和則氏を講師とし、Zoomの体験講座を行いました。

Zoomは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からも、ビジネスからプライベートまで幅広く活用されており、基本的な使い方から画面を見やすくするコツなど、初心者でも上手に使える方法を教えていただきました。



講師 井上 和則 様

研修会の参加者からは、「色々な方の話が聞けて有意義でした」「CS・PTAそれぞれの必要性がよくわかった」「学校や地域に関わる人が一堂に会する場があることがよいと感じた」「Zoomの講習会は、疑問に思っていたことが解決できてよかった」など、多くのご意見・ご感想をいただきました。

【令和4年2月1日発行】

帯広市教育委員会 学校教育部 教育総務室 学校地域連携課

TEL : 0155-65-4162

Email : school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp

帯広市 コミュニティ・スクール

検索

